

みんなの要求みんなて実現！ 広げよう共同の輪！

大阪春闘共闘ニュー

No. 30

09年4月27日

〒530-0034 大阪市北区錦町2-2
国国会館1F 大阪労連気付
TEL 06 (6353) 6421 FAX (6353) 6420

相談件数30件！

吹田なんでも相談会



4月26日(日)、午前11時から午後4時まで、JR吹田駅前野のさんくす広場で「貧困なくそう吹田ネット」が主催して「なんでも相談会」が行われました。

「貧困なくそう吹田ネット」は吹田労働組合総連合(吹田労連)、民主商工会や生活と健康を守る会、新婦人や障害者連絡協議会などの吹田社会保障推進協議会に加盟する市民団体の皆さんと一緒に立ち上げられたものです。

今回、2月20日の江坂公園での「ストリート生活・労働相談」に続いて2回目の相談会でした。

相談会は、労働相談、生活相談、営業相談、健康相談など、総合相談窓口として、弁護士3名を含む専門の生活相談員や医療や介護従事者で開設されました。

相談件数は、健康相談も含めて30件を超え、大学院生の消費者金融の相談、セクハラの問い合わせ、仕事に就けない問題、年金の相談などがありました。

具体的には、「東京が本社で自宅も東京なのに、大阪と九州を繰り返し単身赴任になっている。メンタルで病気がちになっているが、求めても会社が東京に戻してくれない。」という相談や、「長く働き続けているのに10月で解雇される。250万円の借金があり何とか働きたい。」との相談がありました。さらに、「一人暮らししているが、この4月に職を失くして友人や消費者金融に借金している。どうしていいかわからない。」と涙を流して訴えがあり、この方については、翌日に実行委員が同行して東淀川区役所へ生活保護申請に行きました。

貧困ネット事務局長の北野さんは、「健康相談も含めてメンタルでお悩みの方が多く感じました。それだけ暮らしにくく、生活しにくい環境になっていると思います。多くの皆さんと一緒に貧困問題を正面に据えてこれからも頑張りたい。」とありました。

企業は景気後退と収益減を理由にして契約打ち切り、雇い止めを強めています。正規雇用も退職勧奨と強要が行われてきており、吹田でも、淀川ヒューテックの契約期間途中での打ち切りや、メイシアターの計装設備管理の受託会社による雇い止めなど、身近なところでも労働者の切捨てが行われています。企業の社会的責任を果たさせ、安心して働ける職場環境づくりに向けて引き続き幅広い共同で運動を進めていきましょう。

上記の取り組みには、阪口吹田市長から激励のメッセージも送られてきました。

同日に、岸和田でも「相談会」が開催されるなど、大阪府下各地でも生活相談が取り組まれています。

3月27日、枚方で開かれた「なんでも相談会」には15件の相談があり、(夫が再就職したものの収入減で)「息子の学生服を買う余裕がない」と駆け込むお母さんもいました。